

地方建設業

経営環境。過去最悪

全建会員倒産は上期274件

工事途中破たんも急増

2008年に入ってから地方建設業界の経営環境が過去最悪の状況になりつつある。既に民間調査機関による倒産統計や金融機関の取引停止件数で建設業の経営悪化は明らかになっていたが、全国建設業協会や東日本建設業保証いすれの調査でも、公共工事を主体とする企業倒産が過去最悪のペースで進んでいることが浮き彫りになった。

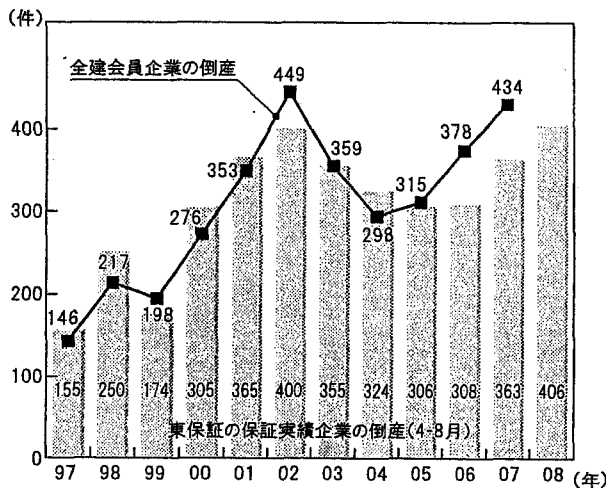
全国建設業協会がまとめた、08年上半期に当たる6月期(08年1-6月)の会員企業倒産件数の累計は、調査開始以来2番目に高かった前年と比べ同期比で31・7%増の274件に達した。

このまま推移すれば、1995年の調査開始以来最悪だった02年の449件を突破し、500件を超える可能性も高い。

業種別内訳は、土木が170件と6割以上を占めた。県ランク別ではAランクが79件、Bランクも64件ありA、B合わせると倒産件数の半数以上

来最悪だった02年の449件を突破し、500件を超える可能性も高い。

業種別内訳は、土木が170件と6割以上を占めた。県ランク別ではAランクが79件、Bランクも64件ありA、B合わせると倒産件数の半数以上



月8月)の保証実績企業倒産も、年度計で890件という過去最悪を記録した02年度の8月累計件数400件を6件上回る406件を記録した。

また東保証が保証先企業の破たんが実際に弁済を行う「前払金保証事故」「契約(履行)保証事故」の合算件数も8月累計で190件と過去10年で最悪だった01年度の163件を大きく上回った。

東保証など前払保証会社の保証事故は、企業倒産のうち破産や整理などによって工事が継続不能になった場合が対象。倒産統計にあがる会社更生法や民事再生法適用企業は工事が継続されるため保証事故には計上されない。

そのため、東保証の保証事故件数が過去最悪のペースで進んでいるということは、ことし春以降

業の破たんが実際に弁済を行う「前払金保証事故」「契約(履行)保証事故」の合算件数も8月累計で190件と過去10年で最悪だった01年度の163件を大きく上回った。

東保証など前払保証会社の保証事故は、企業倒産のうち破産や整理などによって工事が継続不能になった場合が対象。倒産統計にあがる会社更生法や民事再生法適用企業は工事が継続されるため保証事故には計上されない。

そのため、東保証の保証事故件数が過去最悪のペースで進んでいるということは、ことし春以降

に相次いだ地方の老舗や地場大手建設業以外の、公共土木工事を主体とした中小企業の工事途中で破たんが急増している

建設業全体の倒産状況では、東京商工リサーチの8月累計(1-8月)や、全国銀行協会がまとめた建設業の取引停止件数も7月までで高水準となっており、地方建設業の苦境が一層高まっていることを示している。